

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市大平児童館
	所在地	栃木市大平町蔵井2007-1
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	学校法人しずわでら学園
	所在地	栃木市岩舟町静和1151-4
	主な業務内容	認定こども園しずわでら幼稚園、認定こども園ふじおか幼稚園 の運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理指標	指標名		計画値	実績値
	アンケート集計数		500枚	660枚
	利用者意見反映数		2件	2件
	施設案内配布数		12回	12回

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25

指定管理者コメント	<p>①児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童を健全に育成することを目的として施設運営方針を定めました。また、事務室に掲示し職員が常に意識できるよう努めました。</p> <p>②施設の案内を玄関に表示、またホームページでも案内をすることで、誰もが利用しやすいようにしました。</p> <p>③利用者満足度向上のため、夏休み中の利用者アンケート調査を118件、また各種イベントごとの参加者アンケート調査を542件実施しました。調査内容により2件のイベント追加等を実施しました。</p> <p>④意見箱を設置し、常に利用者の意見を把握するよう努めました。また、苦情処理の基本的なマニュアルを作成し、苦情があった場合スムーズに対応できるよう努めました。</p>
-----------	--

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・基本運営方針に基づき、目標達成に向けて効果的、効率的に管理運営を行っている」と評価する。 ・年1回の利用者アンケートと行事毎のアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努め、運営改善の意識を持って取り組んでいる。 ・小学生の利用者が減少し、幼児と中学生の利用者が増加している。幼児や産後のママを対象にした事業を増やしていたり、小学生だけでなく中学生以上も対象とした幅広い行事を展開していたことがうかがえる。
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況 指標評価指	指標名			計画値	実績値		
	利用者数			18,500	16,913		
	新規事業数			3事業	13事業		
	地域との協働事業数			9回	10回		
	協働事業参加者数			100人	60人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①年間の事業計画に基づき開館し、予定通り事業を実施しました。</p> <p>②毎月発行のじどうかんだよりに加え、ホームページ・広報誌・ケーブルテレビ・フリーペーパー・Twitter・LINEなどを積極的に利用し、幅広い周知を図りました。</p> <p>③児童館条例で定められている開館時間を延長することで、施設の利便性を高め利用者の拡大を図りました。新規事業として乳幼児向けにベビーマッサージ、食育イベント、アロマの虫よけスプレー作りなどを開催しました。また小学生向けに工作あそびの開催、ママ向けのママフェスなど多数の新規事業を行い、新規利用者の増加を図りました。</p> <p>④地域住民や学生の協力を基本とし、子どもフェスティバルや小学生対象の料理教室、また乳幼児向けの親子教室のイベントなどを開催しました。29年度は子どもフェスティバルのイベント縮小のため、ボランティア募集人数を減らすことになり、延べ人数も減少しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、おおむね事業が達成されたものと評価する。 ・Twitter・LINEなど、今どきの母親たちが入り込みやすいツールを使った周知は他の児童館の先端であった。 ・開館時間を延長したり、大平児童館の特徴である天体望遠鏡による観測行事を週末の金曜日に設定するなど、利用者のニーズに合った行事に積極的に取り組んでいる。 ・恒例の子どもフェスティバルに加え、今年度より子育てママを対象にした「ママフェス」に304人の参加があり、指定管理者ならではの発想が感じられ、児童館事業として大きな成果を上げている。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況 指標評価	指標名		計画値	実績値			
	見積もり合わせ実施数		5件	5件			
	施設修繕数		3件	6件			
	備品等更新数		2件	0件			
	職員が行う館内整備回数		12回	12回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅲ	0.6	9
指定管理者コメント	<p>①指定管理業務に係る収支について専用口座を設け、出納責任者を2名配置し確認体制を強化することにより、正確な管理を行いました。</p> <p>②リサイクル品の使用によるイベント消耗品の削減、光熱水費の効率的な利用に努め、事業経費の削減を成功させるとともに、イベントや施設の充実を図りました。</p> <p>③業務委託に関して、経費削減やサービス向上等考慮し、委託業者との信頼関係も築くよう努めました。</p> <p>④安心・安全に考慮し、危険個所の修繕や備品の交換等行いました。また、エアコンの清掃を職員や業者にて定期的に行い温度管理を徹底することで、省エネにも力を入れました。施設修繕に関しては、放送設備の修繕が1度で改善されず改めて工事が必要になり2件のカウントとなり件数が多くなりました。しかし、修繕で済んだものが多く備品の更新は0件となりました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務に係る専用口座を設けるとともに、出納の確認体制を強化し適切な収支手続きを行っているものと評価する。 ・リサイクル品を使用しているイベント等における消耗品費の削減や、エアコンの清掃や温度管理の徹底による省エネに取り組み、経費節減を計っている。 ・定期的に施設や備品等の安全点検を実施し、修繕、交換等を行うなど、安心・安全な児童館運営に努めているが、施設の老朽化に伴い経費の削減という課題の取り組みが難しいことが懸念される。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	職員研修会実施回数			1回	1回	
	研修会参加回数			3回	5回	
	人員配置数			1日2名以上	1日2名以上	
	勤務時間数			1日8時間以内	1日8時間以内	
	経常収支比率			100%	101%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>①栃木市児童館条例並びに基本協定書に基づき、施設の運営に必要な職員配置を行いました。総括責任者として館長を1名配置、業務従事者すべての者が児童厚生員（保育士・幼稚園教諭等）の資格を有し、常に2名以上の人員配置をしました。</p> <p>②職員研修会を実施、また児童館連絡協議会主催の研修会にも進んで参加しました。次年度以降も積極的に参加したいと思います。</p> <p>③健康保険料・厚生年金保険料は私学共済保険に、また各種税金も適切に納めました。</p> <p>④経常収支比率は例年100%を上回り、安定した財務状況となっています。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の基本協定書に基づき、業務従事者すべての者が児童厚生員の資格を有するなど、適正な職員配置を行っている。 ・必要な研修会に計画的に参加し、職員の資質・能力向上を図っていただけるようお願いしたい。 ・財務状況について適正であると認める。 					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		12回		12回		
	訓練実施数		12件		12件		
	事故発生数		0件		0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検に加え、月に1度定期点検を実施し、トラブルを未然に防ぐとともに、修繕を適期に実施しました。</p> <p>②危機管理マニュアルを場面によって対応しやすいよういくつかのパターンに分けて作成し、すべての職員に配布し事務室に掲示することにより、的確な対応ができるよう努めました。</p> <p>③利用者を交えての避難訓練を実施、また毎月消火器の点検や避難経路の確認等を実施し、職員や利用者の防災意識を高めるものとなりました。</p> <p>④個人情報保護マニュアルに基づき、適切な管理をしました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全面に配慮した点検、修理を実施している。 危機管理マニュアルを策定し、マニュアルに基づく適正な対応が図られるよう、マニュアルを全職員に配布するとともに、事務室内に掲示するなどの取組みをしている。 避難訓練を実施し、職員及び利用者の防災意識の向上を図っている。 個人情報について、マニュアルに基づく適正な管理を行っている。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	12	12
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	9
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	20
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	86	86
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産総額	641,612,860	1,010,695,134	1,371,620,864
売上高	323,396,430	374,294,282	433,220,797
経常利益	65,967,037	65,388,516	328,645,805
当期利益	65,967,037	65,388,516	328,645,805
経常収支比率	120.0%	118.1%	101.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常費用	328,792,038	361,136,838	433,671,198
経常収益	394,759,075	426,525,354	439,455,003
経常収支比率	120.00%	118.10%	101.33%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

指定管理者コメント